

2022年7月

各位

株式会社 北海道銀行
北海道ベンチャーキャピタル 株式会社**旭川医科大学発ベンチャーのカムイファーマ株式会社にシリーズBラウンドで
「どさんこ地域活性化ファンド」から約50百万円を投資**

北海道銀行（頭取 兼間 祐二）と北海道ベンチャーキャピタル（代表取締役 浦田 祥範）は、2022年7月8日付でカムイファーマ株式会社（本社：旭川市 代表取締役 尾川 直樹）に、「どさんこ地域活性化ファンド」から約50百万円を投資しましたのでお知らせいたします。なお、同社に対してはこれまで「ほっかいどう地方創生ファンド」を通じた投資を行っており、今回の出資により同社への累計投資額は約100百万円となります。

同社は国立大学法人 旭川医科大学 内科学講座 消化器・内視鏡学部門 藤谷 幹浩 教授（同社取締役 CSO）らが見出した、ヒトの体に有用な微生物＝プロバイオティクスを活用し「プロバイオティクス由来医薬品で医療の世界を変える」ことを目指す、旭川医科大学発ベンチャーです。現在、炎症性腸疾患※治療薬（ポリリン酸製剤）や膵臓がん治療薬（フェリクローム）などの研究開発を進めています。

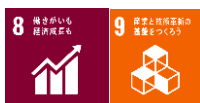
※炎症性腸疾患とは、ヒトの免疫機構が異常をきたし、自分の免疫細胞が腸の細胞を攻撃してしまうことで腸に炎症を起こす病気のこと。特徴的な症状としては、下血を伴う下痢と頻繁に起こる腹痛であり、厚生労働省により難病指定され、根治療法は確立されていない。

同社では自社創薬パイプライン開発を加速するほか、プロバイオティクス技術を活用した新たな事業にも取り組むため、今回のシリーズBラウンドでは総額6.5億円強の資金調達を完了しました。本ファンドでは同社の技術面の優位性と今後の成長性を高く評価し、「ほっかいどう地方創生ファンド」に続き、投資を行うことといたしました。

当行は今後も経営理念である「地域共栄」「進取創造」のもと、優れた技術・サービスをもつ企業への資金提供を通じて、地域活性化に向けて取り組んでまいります。

【カムイファーマ株式会社企業概要】

本社所在地 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学内
代表者 代表取締役社長 尾川 直樹
設立年月日 2018年4月4日
事業内容 医薬品開発、有用微生物を利用したヘルスケア事業開発
U R L <https://www.kamuiharma.co.jp>

【該当するSDGsの目標】

SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

【本件のお問い合わせ先】

北海道銀行 コンサルティング営業部 高宮・松田 TEL 011-233-1163
広報CSR室 小山・西東 TEL 011-233-1005
北海道ベンチャーキャピタル(株) 田中 TEL 011-738-7380